

週報



2018年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2018年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2018年 活動指針

1. 三代圏理想家庭と孝情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動と地域化及び家庭教会推進
3. 未来人材育成と二世圏祝福強化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

建国精神の相続

● 「一九七一年、神様が私にアメリカに行きなさいとおっしゃいました。そして、キリスト教の復興を試みて、アメリカを建国精神に戻す運動を展開しなさいとおっしゃいました。神様は私を、医師と消防士の役割をしなさいとアメリカに送られたのです。アメリカに行って、一大霊的覚醒運動を起こすために送られたのです。」

「私には、神様がアメリカを愛していられることが分かります。しかし、アメリカの偉大さは、豊富な資源にあるのではなく、豊かな繁栄にあるではありません。アメリカの偉大性は、正にアメリカの建国精神にあります。」

● アメリカで最初の冬、大胆なメイフラワーの生存者は最初の人数の半分になっていました。来る日も来る日も、その冬は愛する者との心を引き裂くような別れの日々でした。これらの勇敢な開拓者が次々に死んでいきました。…彼らは決して神への信頼を失わず未来の展望を失わなかったのです。アメリカに来ることの目的は神を中心とした国をつくり、神が住むことのできる、そして本当に親交を分かち合い神と共に親交を喜ぶことのできる天地をつくり上げることにあつたのでした。これはすべて神の摂理の中にあることでした。なぜなら神は最終的な永遠の世界救済のため、神の闘士として仕える一国を必要とされているからです。

● もう一つの奇跡が清教徒たちにもたらされたのです。辛うじて彼らが生き残り彼らの人口が半分になった時、インディアンの一撃は簡単に彼らを全滅させてしまうことができたのでした。しかし、ここでも神は彼らの盾となりました。…インディアンは、移住者を歓迎しました。…最初の春が過ぎて、彼らは整地し種を蒔き耕し、実りを刈り入れました。そしてすべての収穫を神の前に捧げました。感謝祭という美しい伝統はこうして始まったのです。次に厳しい冬に引き続いて彼らが最初に建てたのが教会でした。彼らが最初につくった道は教会への道でした。明け方に、朝に、昼に、彼らは神に祈ったのです。

● 彼らは、このキリスト教国家が地球上のどの国より世界のために良いことをなすだろうという未来の展望をもっていたのです。私は教会の次に学校を建てただろうということを確信しています。彼らは子供たちにかつての世界にあつたどの学校より良い学校を望んでいました。彼らの住む家は最後に彼らの家を建ててからそれを神に捧げたのです。これが、私が知るアメリカにやって来た清教徒団の歴史です。アージュ!

天一国経典「平和経」P395